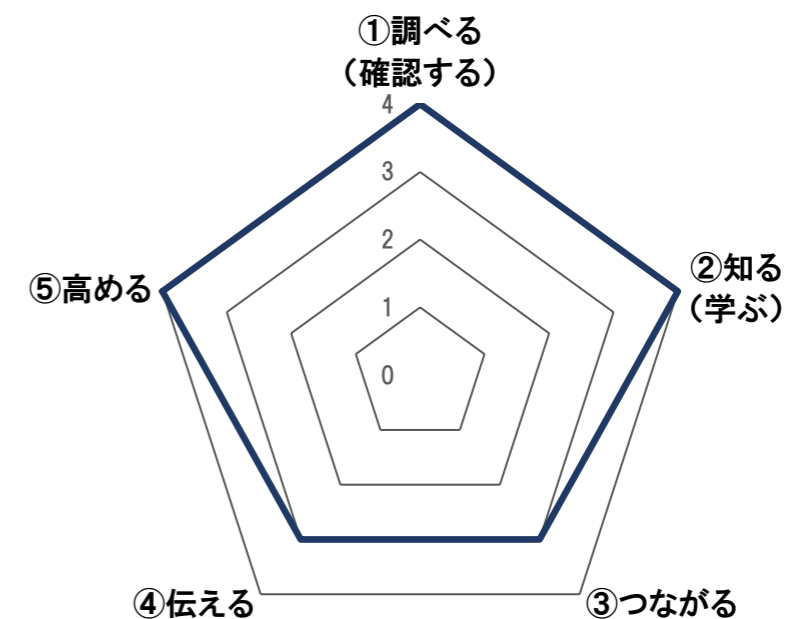


# 登別小学校区

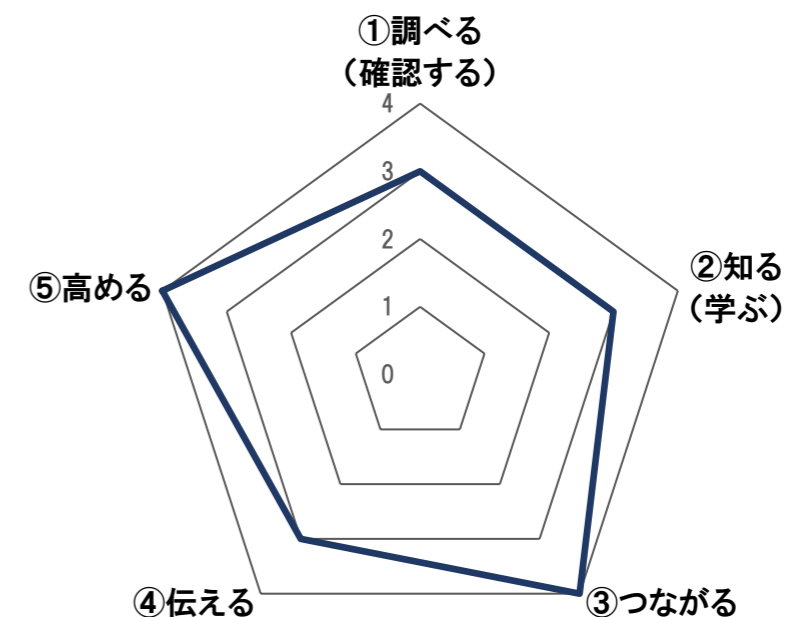
## 校区活動(校区きずな推進委員会の運営、住民座談会の開催)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	年2回の校区委員会の開催や、きずなを学び合う会の開催により、地域の実情を確認しながら今後の活動について検討することができた。	4	今後も地域の実情を把握し、活動検討を図る。
②知る (学ぶ)	きずなを学び合う会では、今後の課題である買い物支援についてテーマを定め参加者で学びを深めることができた。	4	今後も校区推進委員や地域住民で学びを深めながら、活動の推進を図る。
③つながる	きずなを学び合う会へ地域包括支援センターや校区内福祉施設からも参加があり、協議することができた。	3	事業の具体的な検討に向け、より関係機関と連携・協議の場を設けていく。
④伝える	きずなを学び合う会できずな活動や地域の支え合いについて周知を図ったが、今後も広く伝えていく必要がある。	3	地域住民や関係機関、参加の少ない推進委員等にも周知を図っていく。
⑤高める	校区推進委員会への参加率は高くないが、校区活動について熱心な話し合いが行われ、具体的な事業実施に向け検討を始めることができた。	4	より良い校区活動の推進に向け、今後も検討を重ねていく。



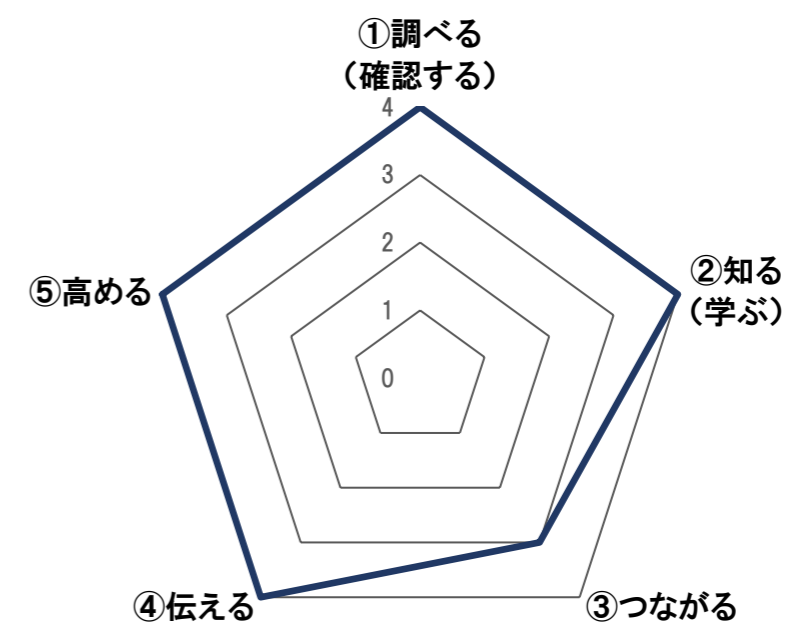
## 日頃からの見守り・訪問・声かけの推進(小地域ネットワーク活動の充実)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動は校区内14町内会で取り生まれ、実施率も77.8%まで上がっている。	3	今後もPRを続け、必要な町内会に普及するよう働き掛ける。
②知る (学ぶ)	日頃の実践を通し、学びを深めることができた。	3	活用に向け学びを深める機会も必要に応じ設けていく。
③つながる	小地域ネットワーク活動や各町内会での訪問・見守り活動によって、地域につながりを生むことができた。	4	今後も推進していく。
④伝える	日頃の実践を通し、きずなを伝えることができた。	3	今後も必要な世帯に勧め、活用できるよう活動を伝えていく。
⑤高める	小地域ネットワーク活動の推進により、日頃からの備えや見守り体制の強化を図ることができた。	4	今後も継続していく。



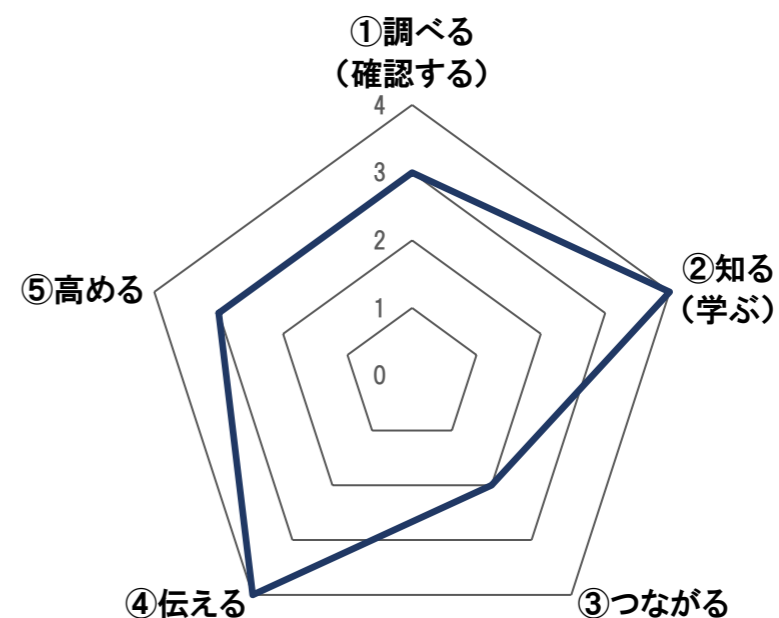
## 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会の推進)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	安定したサロン活動が実施されている。会食会も14町内会で実施され、地域の実情把握の場となった。	4	今後も活動を継続しつつ、より充実した実施を目指す。
②知る (学ぶ)	サロンサポーター連絡会やサロンでの講話等を通し、サロン運営者も参加者も学びを深めることができた。	4	サロン等の活動を通し、学びを深める機会を設けていく。
③つながる	地域包括支援センターの職員にも参加してもらうことで、関係機関との関わりを深めることができた。	3	より良い活動展開のため、今後も関係機関と協力し合っていく。
④伝える	会食会時には共同募金配分金による助成の周知を依頼。また、様々な機会に住民の居場所やつながりづくりの必要性を伝えることができた。	4	今後も周知を図っていく。
⑤高める	サロンも会食会も地域における貴重な居場所、ふれあいの機会として定着しており、求められる場となっている。	4	今後も活動を継続しつつ、より充実した実施を目指す。



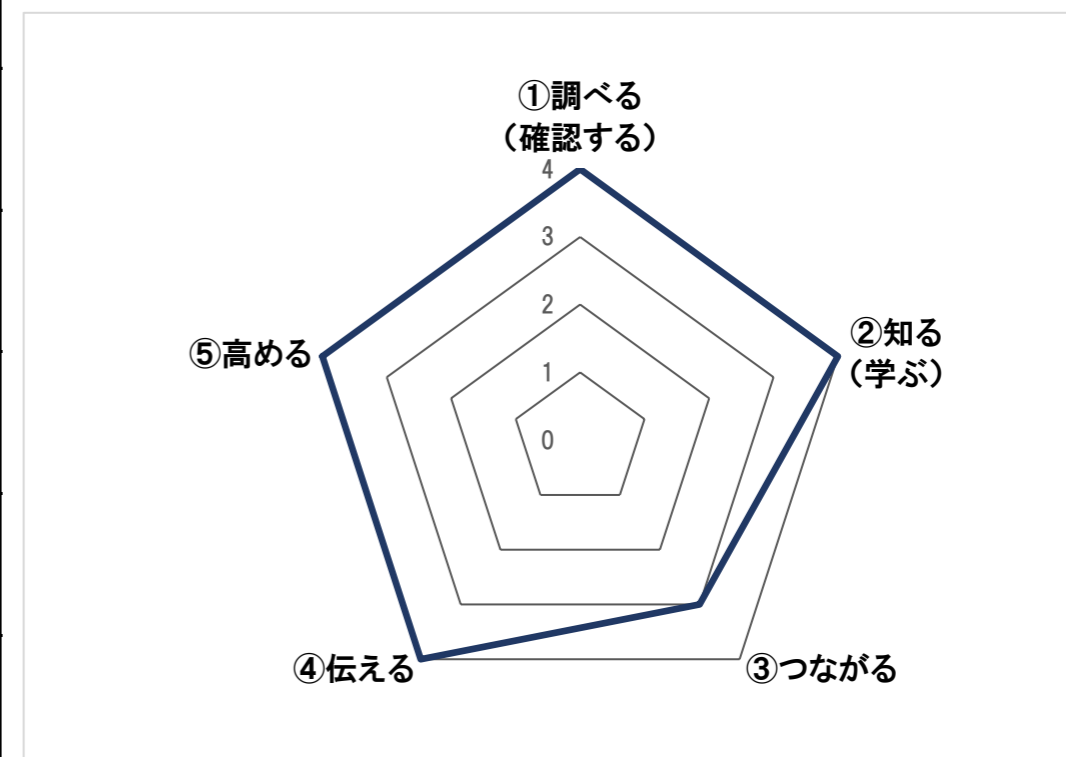
## 生活環境の整備(空家の有効活用、除雪やゴミ出し等ちょっとしたことの支援)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	鍵預かりサービス事業を実施することができた(利用者6名、事業協力員52名)。空家の活用や生活支援は未実施だが、実施に向け検討を重ねることができた。	3	鍵預かりサービス事業は継続し、未実施の部分については校区推進委員会で実施に向け検討を図る。
②知る (学ぶ)	きずなを学び合う会では、今後の課題である買い物支援についてテーマを定め参加者で学びを深めることができた。	4	今後も実施に向け学びを深めていく。
③つながる	買い物支援事業の検討に向け、登別商店会へ過去の買い物支援事業についてインタビュー等を行うことができた。	2	今後も具体的な検討に向け、企業や団体、関係機関等とも連携を図っていく。
④伝える	きずなを学び合う会では、住民同士の支え合いで行う生活支援や買い物支援の必要性について、参加者へ伝えることができた。	4	実施に向け、住民や関係機関にも広く伝えていく。
⑤高める	具体的な実施に向け検討を進め、機運を高めることができた。	3	実施に向け推進していく。



## 人材育成(お茶の間会議の実施)

評価指標	内容	点数	2019年度に向けて
①調べる (確認する)	お茶の間会議の開催により、中学生が福祉に関心を持ち考える機会を設けることができた。	4	今後も継続して実施する。
②知る (学ぶ)	地域の実情や福祉活動について、住民と生徒が共に考え学びを深めることができた。	4	今後も継続して実施する。
③つながる	中学校関係者とつながりを持ち、実施することができた。	3	必要に応じ、その他の関係機関等とも連携を図っていく。
④伝える	地域の福祉活動について、同じく地域住民の立場から生徒達へ伝えることができた。また、赤い羽根共同募金の使い道を伝えられたことも良かった。	4	若い世代に地域活動や福祉活動を伝える機会として今後も推進していく。
⑤高める	世代を超えた交流により、中学生にも地域や福祉について身近に感じ、考えてもらう機会となった。また、住民も生徒達の考えに触れられる貴重な機会となった。	4	世代を超えて住民同士が関わることのできる貴重な機会として、今後も継続していく。



## 校区きずな推進委員会 委員

リーダー	田畑 恒義	きずな推進委員	畠山 基子	きずな推進委員	須賀 武郎
サブリーダー	桶屋 純一	きずな推進委員	吉岡 政美	きずな推進委員	飯島 武
サブリーダー	伊藤 芳雄	きずな推進委員	成田 光男	きずな推進委員	山口 富智子
きずな推進委員	日野 安信	きずな推進委員	田代 健二	きずな推進委員	和田 卓士
きずな推進委員	中川 信市	きずな推進委員	勝間 広靖	きずな推進委員	太田 憲明

## 1. 校区活動

日にち	名称	人数	内容
6月8日	第1回登別小学校区きずな推進委員会	7名	1. 平成29年度における第3期きずな計画の評価について 2. 今年度の第3期校区きずな計画の取り組み内容について 3. 今後のスケジュールについて
1月23日	第2回登別小学校区きずな推進委員会	5名	1. 登別小学校区のこれからを考える勉強会(座談会)の内容について 2. お茶の間会議in登別中学校について
3月6日	登別小学校区のきずなを学び合う会(住民座談会)	28名	1. 講義「高齢者の生活を支え合う地域づくり」 2. 勉強会・意見交換「富山県の4つの仕組みを参考に、校区で買い物支援を行うとしたら」

## 2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

登別温泉地区連合町内会	中登別町内会
登別東町一町会	登別東町2町会
登別東町第三町会	登別東町第4町会
登別東町第五町会	登別本町会
登別本町2町会	登別東町団地町内会

実施率 77.8% ( 14 / 18 )

## 3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあい・いきいきサロン、ふれあい会食会)

### ふれあい・いきいきサロン

みどり会	登別東町2町会いきいきサロン
登別東町第三町会ふれあいサロン	登別東町第5町会ふれあいサロン
ふれあいサロン花園	

### ふれあい会食会

登別温泉地区連合町内会	新登別町内会
中登別町内会	登別東町一町会
登別東町2町会	登別東町第三町会
登別東町第4町会	登別東町第五町会
登別本町会	登別本町2町会

実施率 77.8% ( 14 / 18 )